

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日 更新

事務事業名		くまもと地下水財団参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	野口 政浩
	施策	19	水環境の保全			所属課	環境衛生課	担当者名	田尻 真晃
	施策の柱	59	地下水のかん養と河川、池沼の汚染防止			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番10206	根拠法令	公益財団法人くまもと地下水財団定款	
								成果優先度評価結果	⑫
								コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県地下水保全活用協議会発足と同時期に開始した。地下水保全活用協議会への参画により、地下水保全に寄与する。平成24年度からは、くまもと地下水財団が組織され、熊本地域の地下水の現状を調査研究し、効果的な地下水涵養と水質の改善につながる具体的な取り組みを行う。新しい推進組織(財団法人化)についての基本合意がなされており、「事業負担金」及び「運営負担金」の合算額に拡充されている。
【業務の流れ】	総会、理事会、幹事会への出席、負担金支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(負担金)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
会議、研修会に参加した。本市地下水使用量で算出された負担金の支払い事務を行った。		地下水涵養量を増大させる対策、地下水の硝酸性窒素汚染を解消する対策、総合的な地下水保全対策を行う事業等であり、財団に対し事業費負担金・事務費負担金を支払う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 会議、研修会への参加者数	人	財団負担金算出基準の地下水使用量の増により負担金の増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
⇒ ア 環境衛生課職員	人	⇒ ア 環境衛生課職員数	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
⇒ ア 情報の入手、職員の意識向上	%	⇒ ア 新たな知識を入手できた件数と割合	
	%	⇒ イ 新たな知識を身につけた職員の割合	
* ③ 成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
地下水保全活用協議会への参画により情報の入手、職員の意識向上が図れるので、成果指標を「新たな知識を入手できた件数と割合」とし、目標値については、知識を入手、身につけることが重要でありそれぞれ「100%」と設定した。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア 人		4	4	4	4	4	4	4	4
	イ									
	イ									
② 対象指標	ア 人		7	7	7	7	8	8	8	8
	イ									
	イ									
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円		81		132			
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	2,223	2,112	2,110	1,978	2,223	2,200	2,200
		(A) 事業費計	千円	2,223	2,193	2,110	2,110	2,223	2,200	2,200
		(A)のうち指定経費	千円	2,223	2,193	2,110	2,110	2,223	2,200	2,200
	(A)のうち時間外、特勤	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	4	0	4	3	4	4	4
		延べ業務時間	時間	524	0	300	420	300	300	300
	(B) 人件費計		千円	2,087	0	1,195	0	1,195	1,195	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	4,310	2,193	3,305	2,110	3,418	3,395	2,200

事務事業名	くまもと地下水財団参画事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 財団への参画により情報の入手、職員の意識向上が図ることができるので目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 地下水の状況や取水量は毎年変動し、情報収集や研修等に参加するよりことで知識が向上する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 くまもと地下水財団への負担金のみである。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 正職員で対応しなければならない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 くまもと地下水財団参画のため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 くまもと地下水財団参画のため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

財団が地下水に関する調査を行っており、市としてもそれに協力した。今後、調査の依頼が増えると思われる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策